ステンレスフレームキッチン
＜キッチン＞
取付説明書

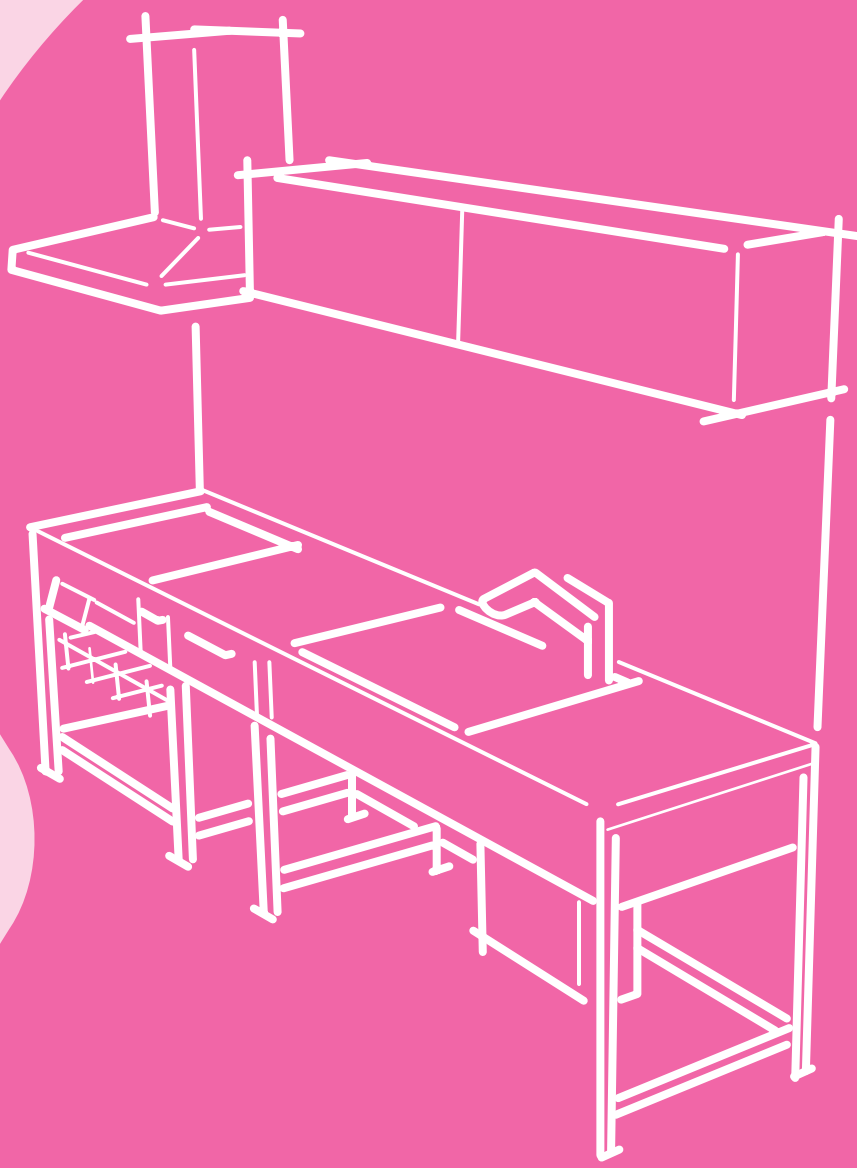
このたびは、ステンレスフレームキッチンをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

このキッチンは一般家庭用のキッチンです。
業務用には使用しないでください。

- **取付説明書必読のお願い**
  施工者の安全と使用者の安全確保のため、この取付説明書をよくお読みになり、安全で正しい取り付けを行ってください。
  組み込み機器および水栓金具については、それぞれの取付説明書に従って正しい施工を行ってください。
- **取り付け完了後、点検のお願い**
  取り付け完了後（点検表に従って）試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確認してください。

※取付説明書どおりの取り付けがなされていない場合の事故等については責任を負いかねますのでご了承ください。

kitchen



もくじ

■ 1. 安全上のご注意 2
■ 2. 取り付け前の確認 3
■ 3. 部材構成と取り付け手順 3
■ 4. ステンレスフレームキッチンの種類と各部の名称 . . . 4
■ 5. 部品表 5
■ 6. 基本納まり図 6
■ 7. I 型壁付けプランの取り付け . . . 7 ～ 11
■ 8. 対面プランの取り付け . . . . 12 ～ 15
■ 9. コンパクトキッチン（セクショナルタイプ）の取り付け . . . . . 16 ～ 17
■ 10. 排水部材の取り付け 18
■ 11. 組み込み機器の取り付け 18
■ 12. 引き出しの調整 19
■ 13. オイルガードパネルの取り付け . . . 20
■ 14. レンジフードの取り付け 21
■ 15. 清掃と養生 21
■ 16. 各部の点検 . . . . . 21 ～ 22
■ 17. 残材・廃棄物の処理 22

1 安全上のご注意

取り付けの前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しく取り付けしてください。

●表示内容を無視して誤った工事・使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明します。

⚠ 警告 この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。

⚠ 注意 この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

●お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分し説明しています。

この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。	この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。

●取り付け完了後、点検表に従って試運転および各部の点検を行い、異常のない事を確認してください。
●本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、取り付け完了後お客様にお渡しください。

⚠ 警 告

ウォールキャビネットの取り付けは建築壁の構造を確かめて、説明書通り正しく行ってください。 取り付けを誤ると落下してケガをする恐れがあります。	配線工事は、関連する法令・規定に従って、必ず『有資格者』が行ってください。 接続や固定が不完全な場合は、火災の原因になることがあります。	ステンレスの取り扱いは必ず手袋をして、取り付け手順に従い正しく行ってください。 素手で扱うとケガをする恐れがあります。

⚠ 注 意

取り付け完了後は、扉の傾き、ガタつき、蝶番の緩みがない事を必ず確認してください。 扉の取り付けに異常があると使用中に落下してケガをする恐れがあります。	包丁トレーは、ビスのゆるみや浮きのないように説明書どおり正しく取り付けてください。 取り付けを誤ると外れてケガをする恐れがあります。	排水ホースは U 字型に曲げたり折り曲げて取り付けないでください。 排水パイプがつまり、水漏れの原因となります。
排水管との接続は、必ず防臭キャップをしてください。 不快なにおいの発生原因となります。	組み込まれる機器、水栓金具等についてはそれぞれの説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく施工してください。 取り付けを誤ると、思わぬ事故や故障の原因となります。 組み込み機器類	溶剤・洗剤・接着剤その他薬品類は、それぞれの注意表示に従って正しくお使いください。 誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因となります。 洗剤類

2 取り付け前の確認

キッチンの取り付けにあたっては、必ず建築基準法や消防法などの法律に従って正しく工事を進めてください。
また、地域の条令等も必ず遵守してください。

① 入荷チェック

届いた品物について、品番個数を確認してください。
もし、間違いがあった場合は、至急納材店にご連絡ください。

② 開梱

各部材を開梱します。同梱の部品・部材や説明書・保証書等はなくならないように、わかる場所に置いてください。梱包用段ボールは、取り付け完了後、養生に使用できます。各部材は、キズがつかないように保護し、作業がしやすいように保管しておいてください。
開梱時において、万一梱包や製品に、キズ等がある場合は、施工前に、ご購入先まで連絡をお願いいたします。施工後のお申し出に対しては、当社としては責任を負いかねますのでご了承お願いいたします。

③ 現場のチェック

プラン図どおり現場ができているか、必ず確認してください。

※ プラン図と違っていて、現場での対応が困難のときは、現場責任者に、指示を仰いでください。

① 壁、床、天井の仕上げおよび寸法、直角、水平、垂直の状態。
② 窓の仕上がり寸法。
③ 出窓枠、ドア枠位置、窓の高さ。
④ ウォールキャビネットの取り付け下地桟の位置確認。
⑤ ガス管位置。
⑥ 排水位置。
⑦ 電気配線位置。
⑧ 給水・給湯位置。
⑨ レンジフード排気口位置。

3 部材構成と取り付け手順

取り付ける部材の基本的な流れを確認してください。
取り付ける機器類については、必ず同梱の取付説明書に従って正しく取り付けを行ってください。

取り付け手順

次のような手順で取り付けをお願いします。

↓

商品の確認

●ワークトップ・シンクの左右仕様

↓

現場の確認

●配管・配線・排水管と排水口の位置、排気口の位置確認
●下地材の取り付け位置・責任施工範囲の再確認

↓

現場床面、壁面の水平・垂直・直角度の確認および修正

↓

① ウォールキャビネットの取り付け

↓

② レンジフードの取り付け

↓

③ ベースフレームの組み立て

↓

④ ワークトップの取り付け

↓

⑤ 排水部材のワークトップへの取り付け

↓

⑥ 組み込み機器の取り付け

↓

⑦ 引き出しの調整

↓

⑧ 扉の調整

↓

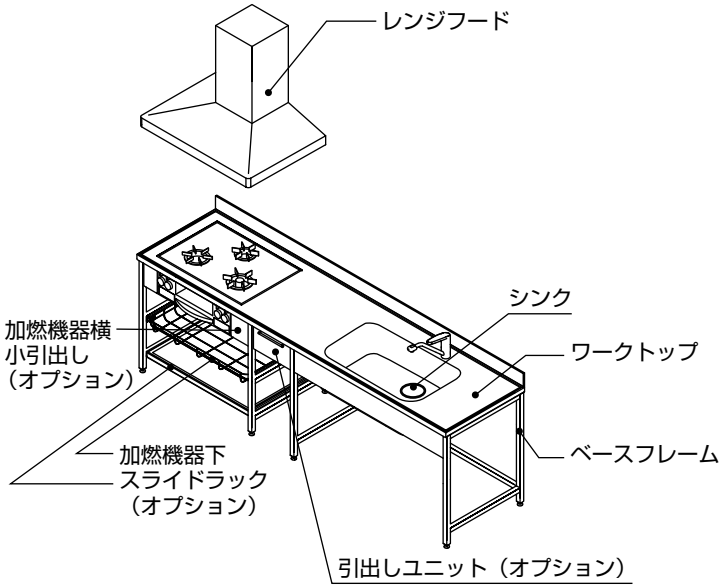
⑨ 各部の点検

↓

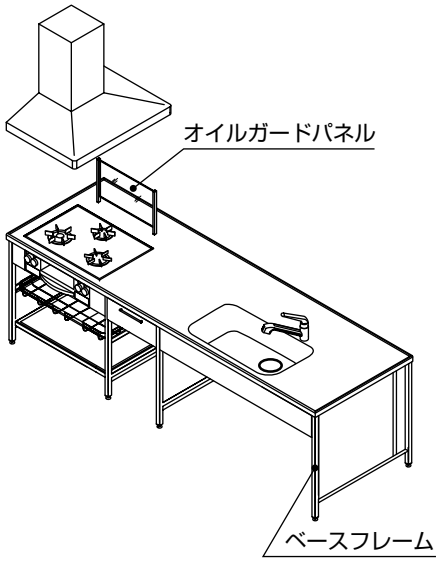
⑩ 清掃と養生

4 ステンレスフレームキッチンの種類と各部の名称

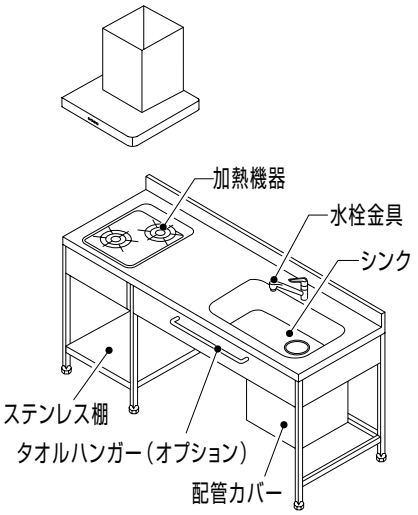
●Ｉ型壁付けプラン
(標準プラン)



●対面プラン
(標準プラン)



●コンパクトゲート
(ビルトインタイプ)



5 部品表

種類・サ イ ズ	姿　図	用　途	部品箱 A (コンパクトキッチン用) GXSP-KITA	部品箱 B (壁付キッチン用) GXSP-KITB	部品箱 C (対面用) GXSP-KITC
床固定金具		床固定用	0	0	4
L 金 具		ワークトップ固定用 壁面固定用	2	9	9
モバイル受け金具		小引出し固定用	0	2	2
六角キャップボルト φ５×１２		フレーム固定用 引出し受アングル固定用	20	24	30
トラスタッピング φ４×１２		ワークトップ固定用 床固定用	12	23	35
トラスタッピング φ４×50		壁面固定用	4	4	0
ピアス PAN φ４×10		前幕板固定用 背面用フェイスパネル固定用 棚板固定用	26	38	64
ナベ小ねじ φ４×１０		アウターレール固定用	0	14	18
トラス小ねじ φ４×１０		引出しユニット固定用	0	17	17
皿タッピングビス φ４×２０		サイド化粧パネル固定用	0	14	30
ピアス皿ビス φ４×１０		化粧パネル固定用	0	23	23
皿小ねじ φ４×１０		化粧パネル固定用	0	14	14
ローゼットワッシャー M4用		化粧パネル固定用	0	20	20
六角レンチ M5 用		六角キャップボルト 回転用	1	1	1
スパナ 14 平		アジャスター調整用	1	1	1

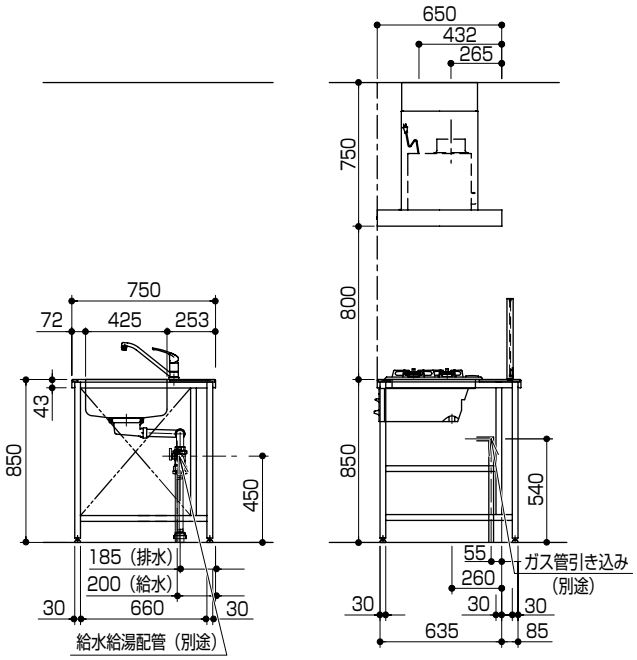
※使用工具：インパクトドライバー

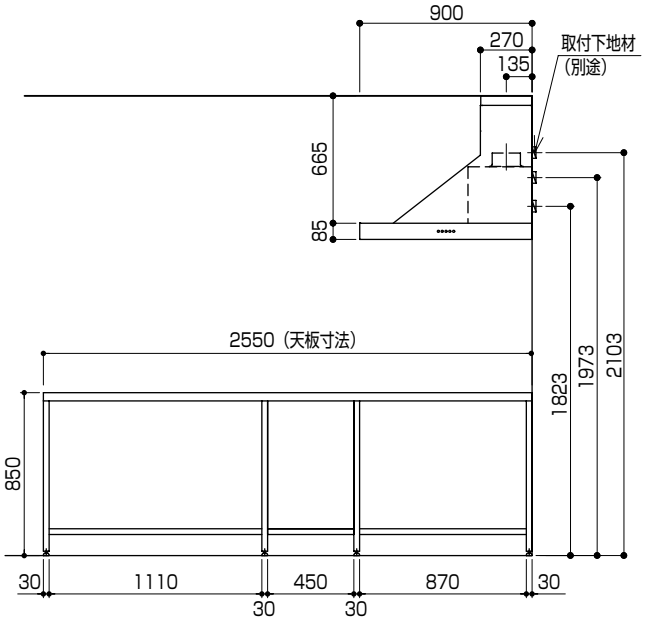
6 基本納まり図

■取り付け位置と取り付け桟位置
下記の標準高さを参考にしてください。

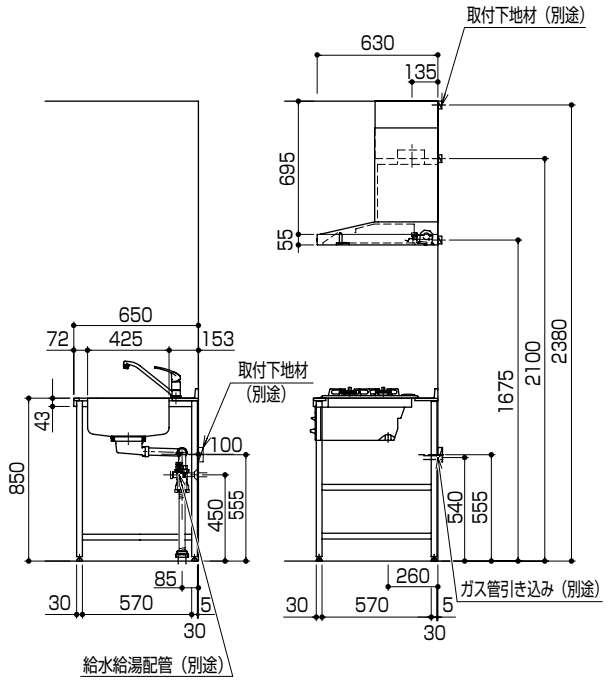
※本図はシンク左の場合の側面を示します。

●対面プラン

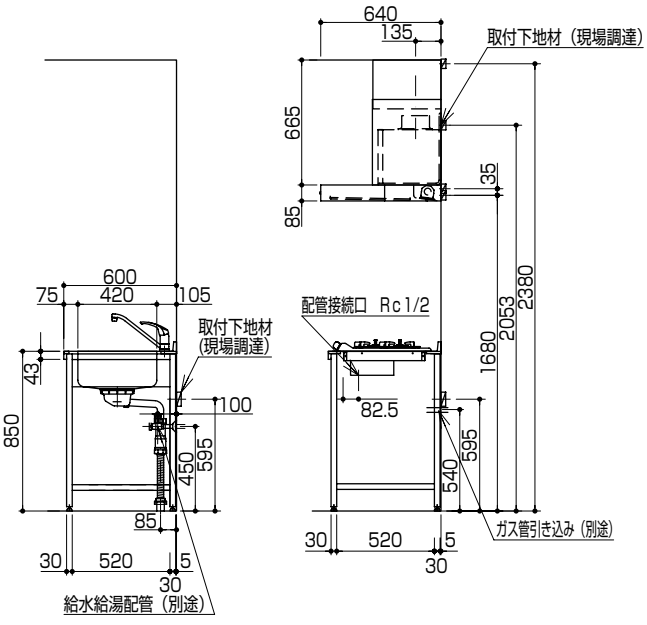




●I 型壁付けプラン



●コンパクトキッチン（ビルトインタイプ）



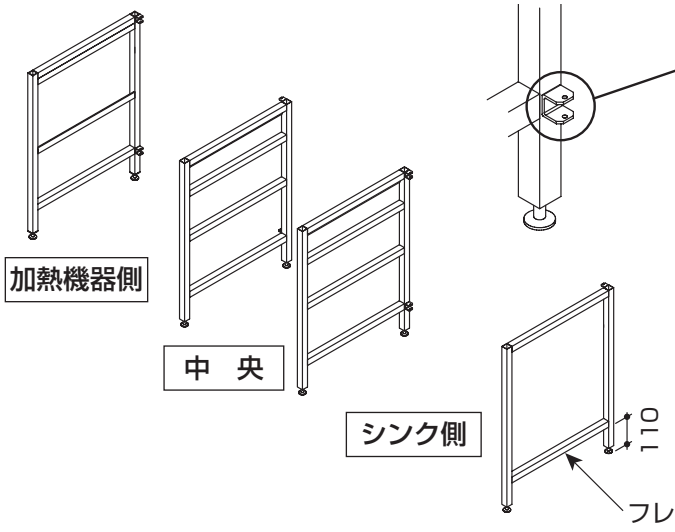
⚠注 意

取り付け下地材は本体重量と収納重量の荷重に充分耐えられる強度が条件です。
堅木で、虫食いや腐れのない木材（40 × 60mm 以上）を使用してください。
キャビネットの落下の恐れがあります。

7 I 型壁付けプランの取り付け

1）ベースフレームの組み立て

■縦フレーム（加熱機器側／中央／シンク側）を確認します。



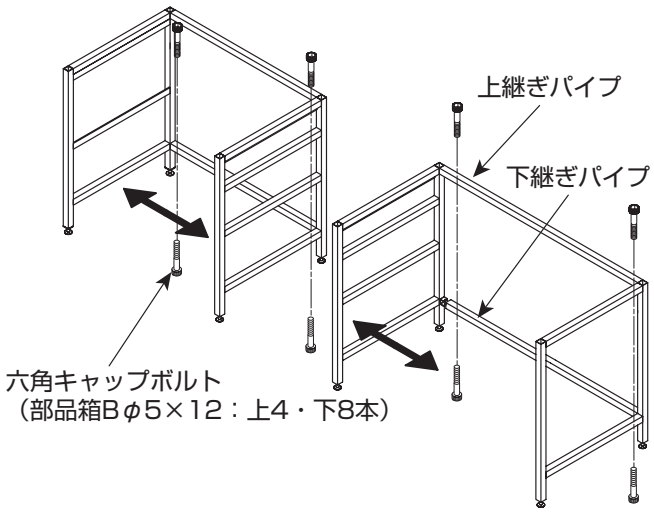
お願い

コ型の金具の数、位置、レールの有無をチェックしてください。

加熱機器側：金具４コ
シ ン ク 側：金具４コ

あらかじめ、アジャスター底部とフレーム下桟の間を 110mm に調整しておいてください。（14 ページ参照）

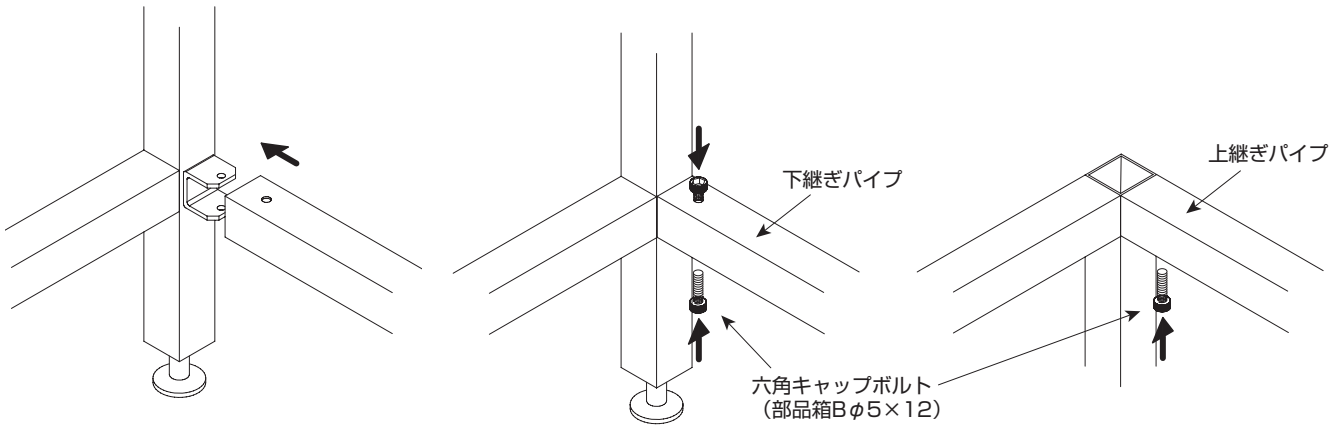
■上下継ぎパイプをコ型の金具に差し込み、六角キャップボルトで固定します。



部品箱 B の内訳は
5 ページを参照ください。

お願い　必ず最初に、継ぎパイプから取り付けてください。後からでは入りません。

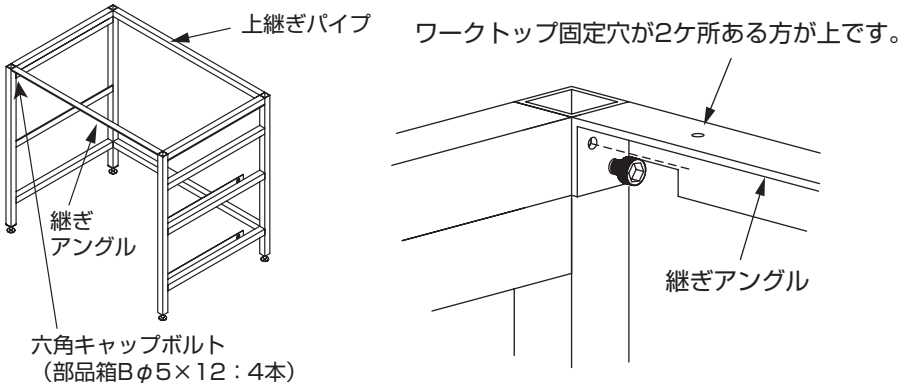
①継ぎパイプをコ型の金具に差し込みます。　②六角キャップボルトで上下から固定します。　③六角キャップボルトで下から固定します。



お願い　＋ドライバーで途中まで仮締めし、付属の六角レンチで締めてください。

2）加熱機器フレームの組み立て

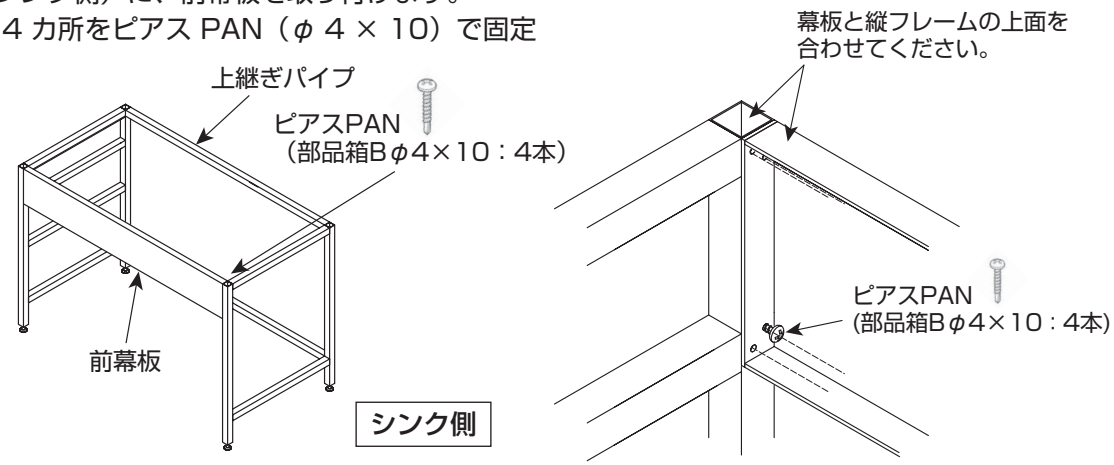
■継ぎアングルの面を上にして、取り付けます。（継ぎアングルは、板状のフレームです。）
■継ぎアングルと縦フレームを左右 4 カ所、六角キャップボルトで固定します。



お願い　ボルトが締めにくい時は、どこかに「ズレ」が生じている証拠です。

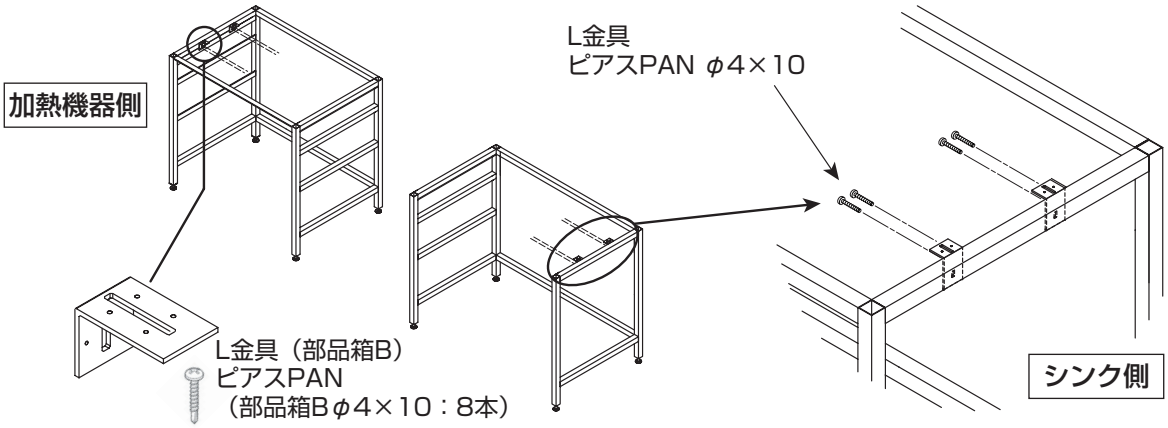
3）シンクフレームの組み立て

■縦フレーム（シンク側）に、前幕板を取り付けます。
■前幕板の左右 4 カ所をピアス PAN（φ 4 × 10）で固定します。



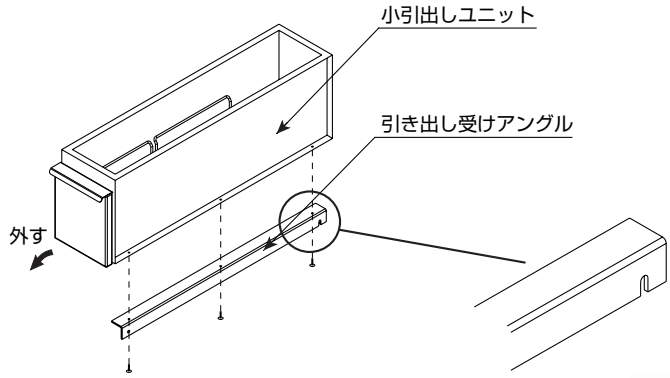
4）L 金具の取り付け

■L 金具を取り付けます。（ワークトップ固定用）
■L 金具を縦フレーム（シンク側/ガス側）のビス穴に合わせて 4 ケ所に取り付けます。
■ガス側は、小引き出しのレールスペースを確保するため、L 金具の長手が上になるように固定します。
■L 金具を固定するために使用するビス（ピアス PAN φ 4 × 10）は 8 本です。

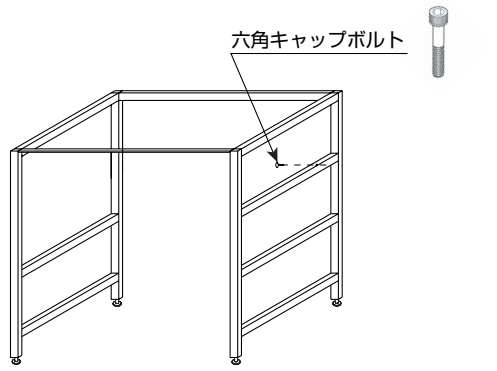


お願い　電動ドライバーのトルクが強すぎるとビス折れやねじ山つぶれとなりますので注意してください。

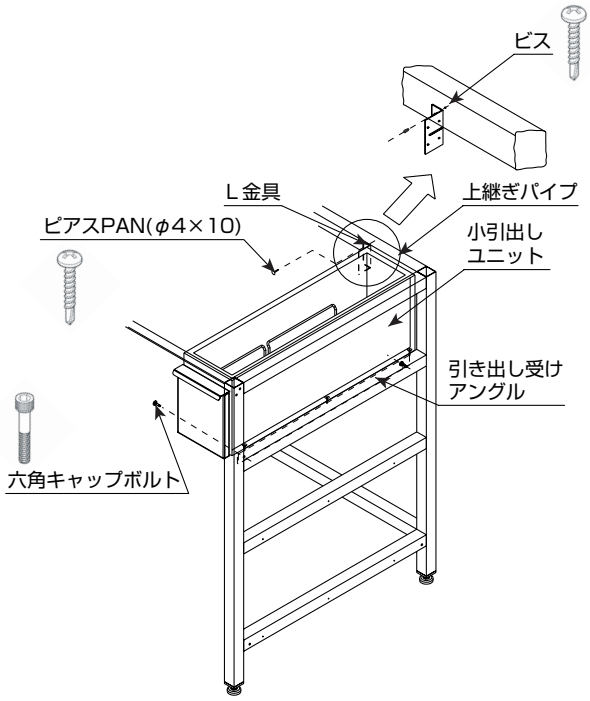
5）小引出しユニットの取り付け方法（オプション）



小引出しユニットを中の引き出しを取り外した状態で引き出し受けアングルの上に乗せ、底板の穴からステンナベ小ネジ（φ 4 × 10）で固定します。



ガス側の片面の奥に引き出し受けアングルを六角キャップボルトで仮止めします。



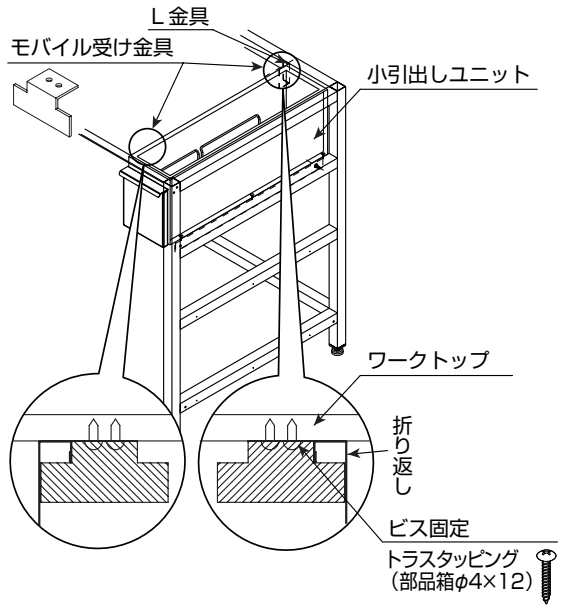
小引出しユニットが引き出し受けアングルに固定された状態で奥の六角キャップボルトに引き出し受けアングルを引っ掛けて縦フレームに六角キャップボルトにて固定します。

次に背面の上継ぎパイプと小引き出しユニットの側板の角にL 金具を押し当て、継ぎパイプにピアス PAN（φ 4 × 10）1 本でL 金具を固定します。

取り付け後、小引出しラックをユニット内に戻します。

ワークットップとの固定について
ワークトップの取り付けをしてください。
（11 ページ参照）

6）小引出しユニットの固定

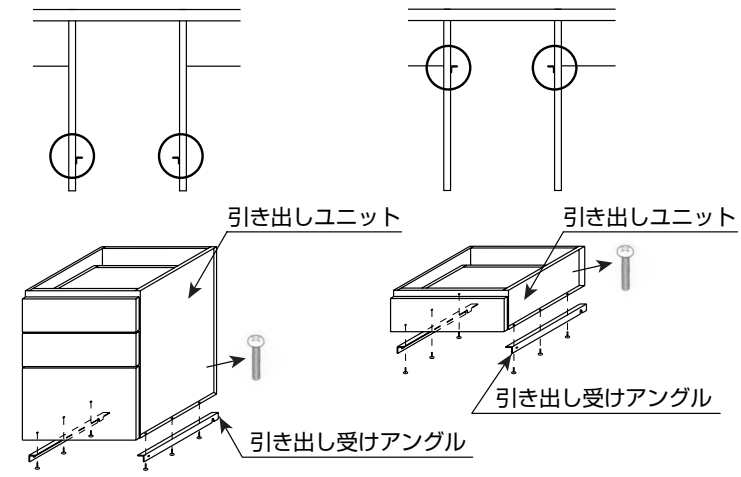


モバイル受け金具を小引出しユニットの側板の折り返しにあてて、ワークトップ裏面へビス固定（各 2 本）してください。

7）引き出しユニット・食洗機ユニットの取り付け方法（オプション）

・3 段引き出しユニット
・食洗機ユニット

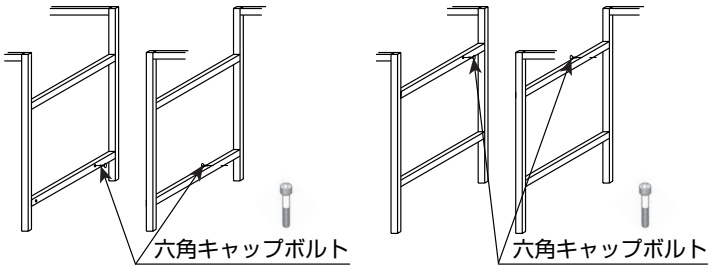
・1 段引き出しユニット



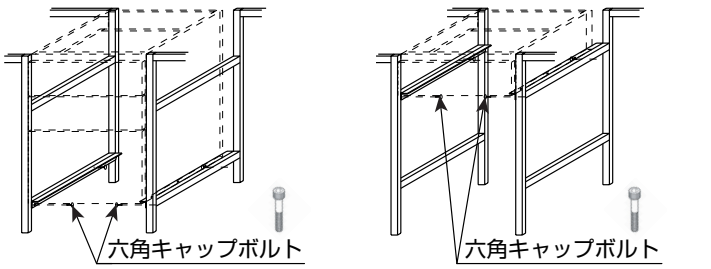
お願い

1 段引き出しユニットと 3 段引き出し・食洗機ユニットで引き出し受けアングルの取り付け位置が異なります。

引き出しユニット（または食洗機ユニット）の引出しを取り外した状態で、引き出し受けアングルの上に乗せ、底板の穴からステンナベ小ネジ（φ 4 × 10）6 本で固定します。



シンク側とガス側の間に引き出し受けアングル取り付けの奥の位置（2 箇所）に六角キャップボルトを仮止めします。



引き出しユニット（または食洗機ユニット）が引き出し受けアングルに取付けられた状態で奥のキャップボルトに引き出し受けアングルを引っ掛けて縦フレームに六角キャップボルトにて固定します。

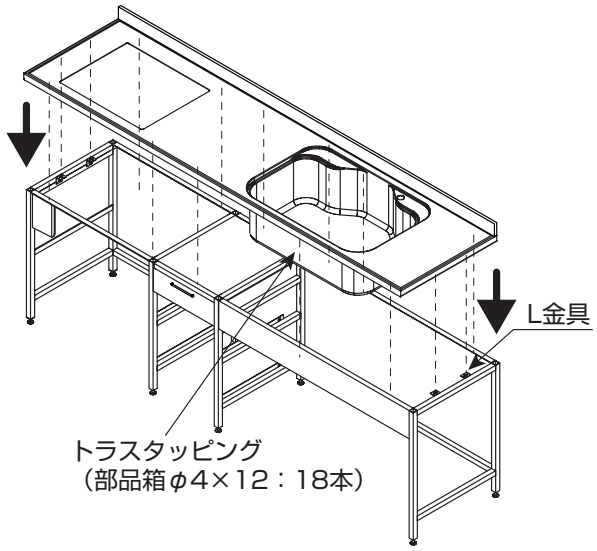
取り付け後、引き出しをユニット内に戻します。

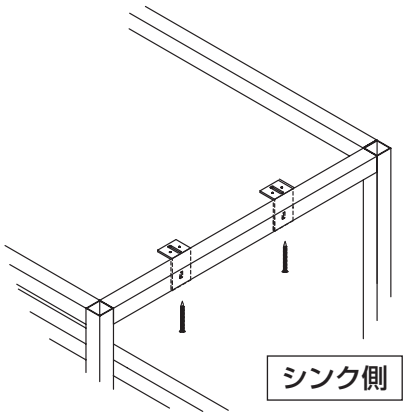
お願い スムーズに動かない場合は、レールが平行でないかアウターレールとインナーレールが正確に挿入されていない可能性があります。確認後、調整してください。

お願い 電動ドライバーのトルクが強すぎるとビス折れやねじ山つぶれとなりますので注意してください。

8）ワークトップの取り付け

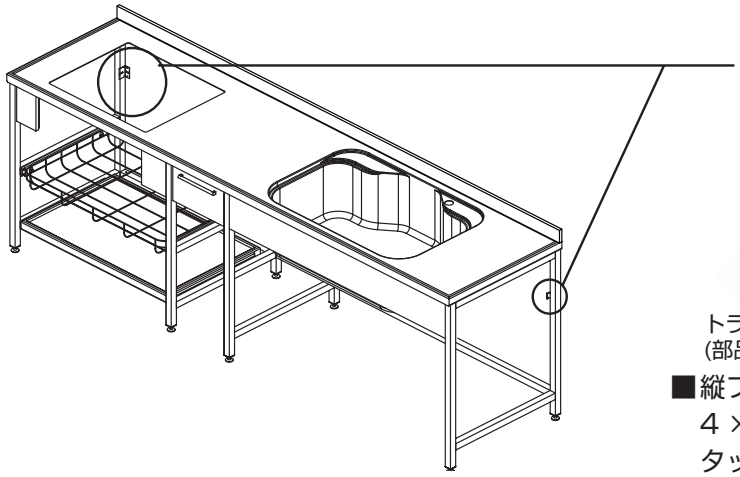
■ワークトップを取り付けます。
■横フレームの下穴とＬ金具の穴を使い、ビス（トラスタッピングφ４×12 ： 18 本）で下側から固定します。
■ワークトップを固定する前にコンロ下スライド棚類を仮置きし、各部の「チリ」を合わせてください。

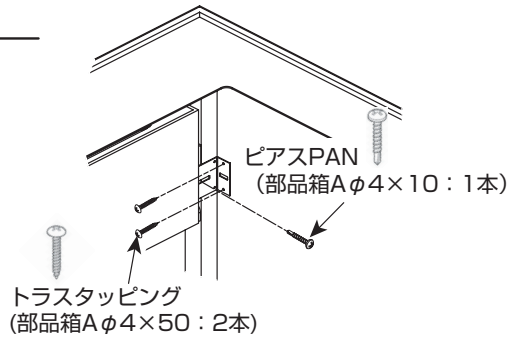




9）壁面への固定

■壁面に固定します。





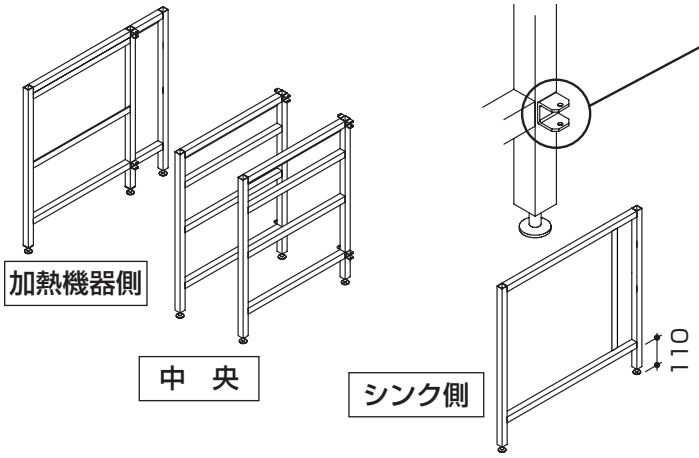
■縦フレームの下穴に対しビス（ピアス PAN φ４× 10）でＬ金具を取り付け、ビス（トラスタッピング φ４× 50）で壁面に固定します。

お願い　フレームと壁面とのクリアランスによって金具の長穴で調整してください。

8 対面プランの取り付け

1）ベースフレームの組み立て

■縦フレーム（ガス側／中央／シンク側）を確認します。



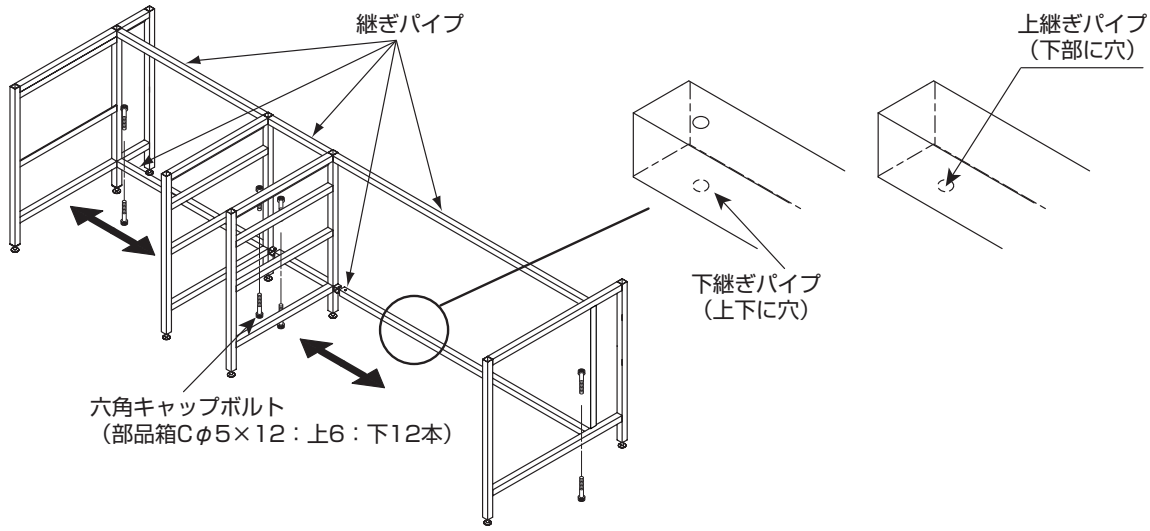
お願い

コ型の金具の数、位置、レールの有無をチェックしてください。

加熱機器側：金具４コ
中　　央：金具４コ
シ ン ク 側：金具４コ

あらかじめ、アジャスター底部とフレーム下桟の間を 110mm に調整しておいてください。
（14 ページ参照）

■継ぎパイプをコ型の金具に差し込み、六角キャップボルトで固定します。

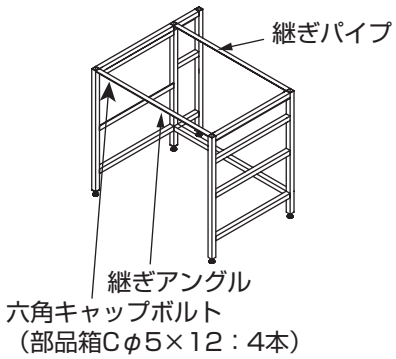


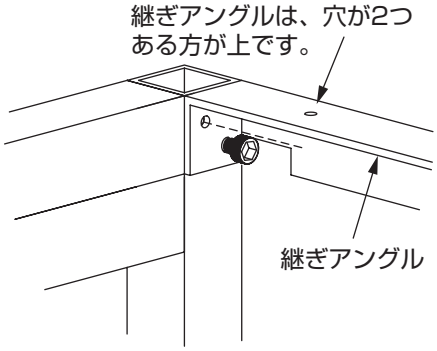
お願い　向きに注意して差し込んでください。

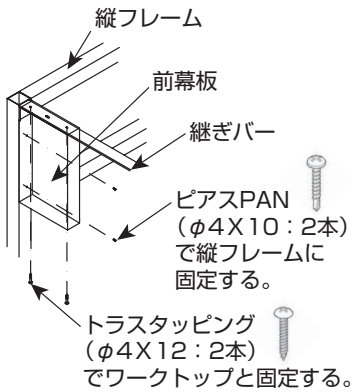
お願い　必ず最初に、継ぎパイプから取り付けてください。後からでは入りません。

2）ガスフレームの組み立て

■継ぎアングルの面を上にして、取り付けます。
■継ぎアングルと縦フレームを左右４ケ所、六角キャップボルトで固定します。
■前幕板を縦フレームに取り付けます。横面に２カ所ピアス PAN（φ４×10）、上面（ワークトップ）に２カ所トラスタッピング（φ４×12）で固定します。



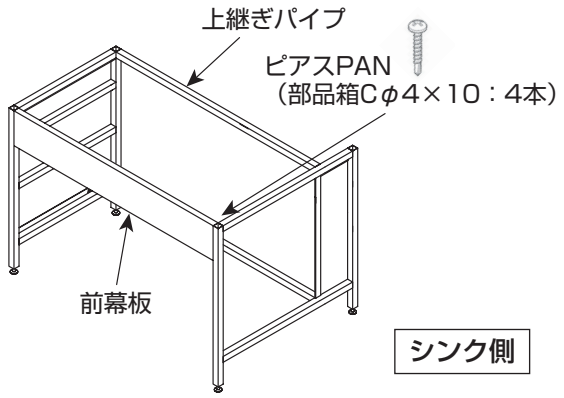


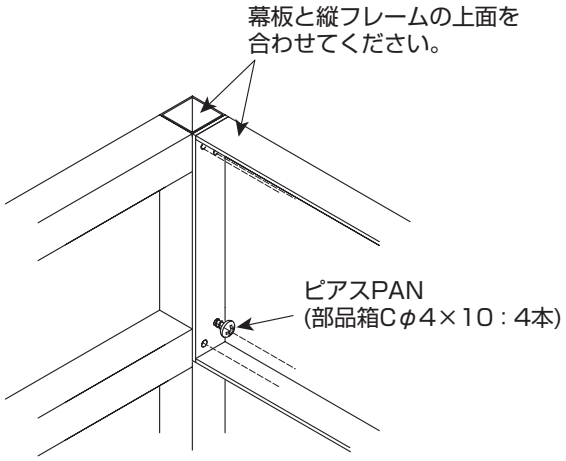


お願い　ボルトが締めにくい時は、どこかに「ズレ」が生じている証拠です。

3）シンクフレームの組み立て

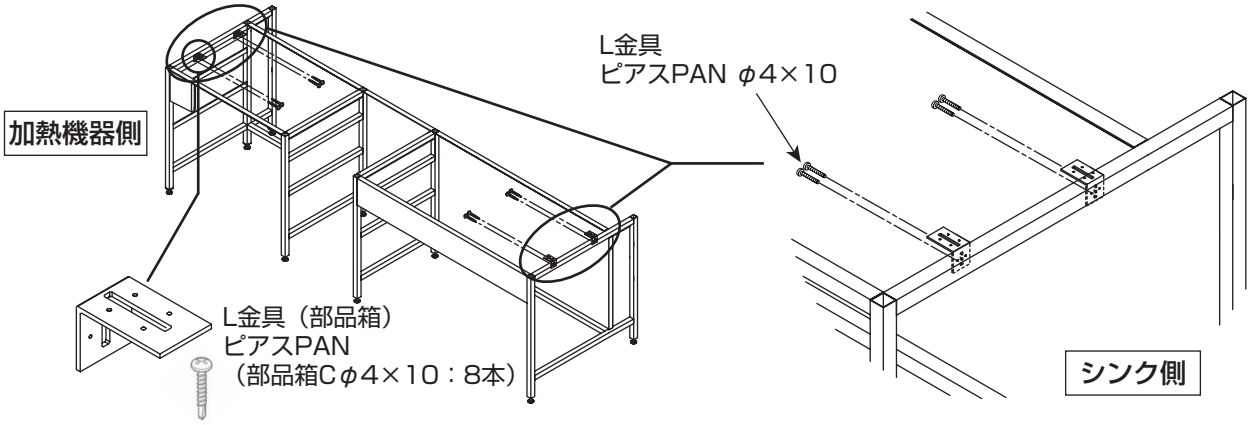
■縦フレーム（シンク側）に、前幕板を取り付けます。
■前幕板の左右 4 カ所をピアス PAN（φ 4 × 10）で固定します。





4）L 金具の取り付け

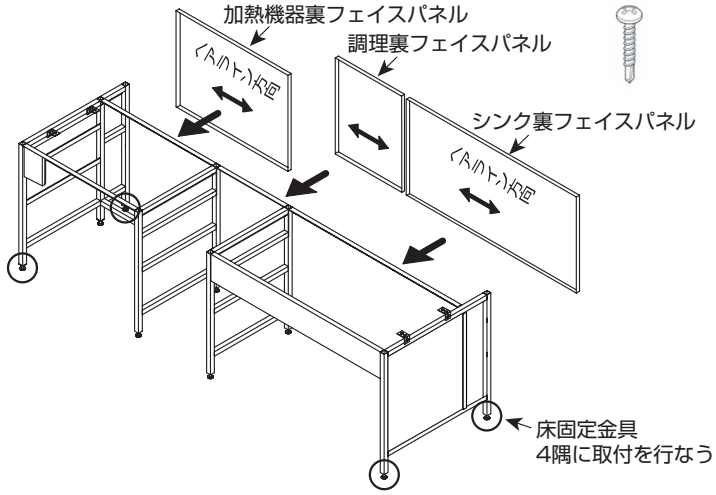
■L 金具を取り付けます。（ワークトップ固定用）
■L 金具を縦フレーム（シンク側/加熱機器側）のビス穴に合わせて 4 カ所に取り付けます。
■全ての L 金具の長手が上になるように固定します。
■L 金具を固定するために使用するビス（ピアス PAN φ 4 × 10）は 8 本です。



お願い　電動ドライバーのトルクが強すぎるとビス折れやねじ山つぶれとなりますので注意してください。

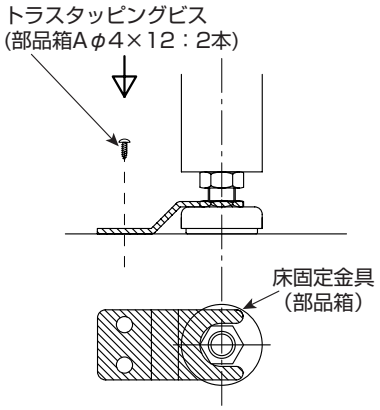
5）背面用フェイスパネルの取り付け（オプション）

■背面用フェイスパネルを取り付けます。
■シンク裏・調理裏・加熱機器裏フェイスパネルを継ぎパイプとフェイスパネルの下穴を使い、ビス（ピアス PAN φ 4 × 10）で内側から固定します。（間口 2550mm のときはビスは 32 本使用）



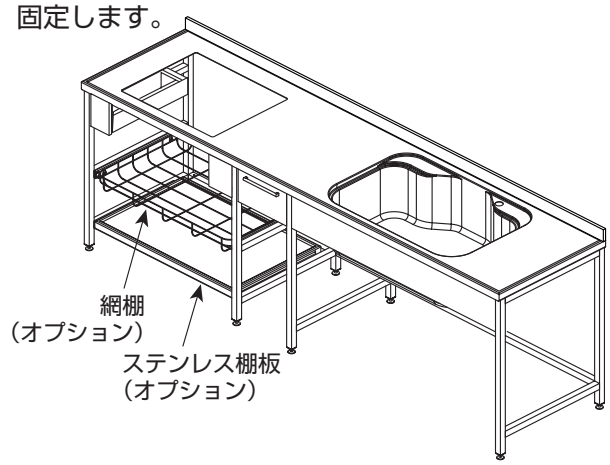
6）床面への固定

■両端の縦フレームの前後のアジャスターに床固定金具 4 コを取り付け、ビス（トラスタッピングφ 4 × 12 ： 8 本）で固定します。

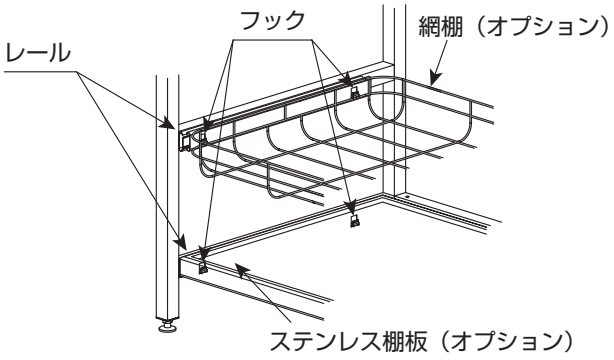


7）加熱機器下スライドラック（網棚とステンレス棚板）の取り付け（オプション）

■レールを中フレーム、下フレームの取付穴に合せて取付ビスにて固定してください。
■コンロ下に網棚とステンレス棚板を取り付けます。
■縦フレームに付いているレールのフックにかけて、固定します。

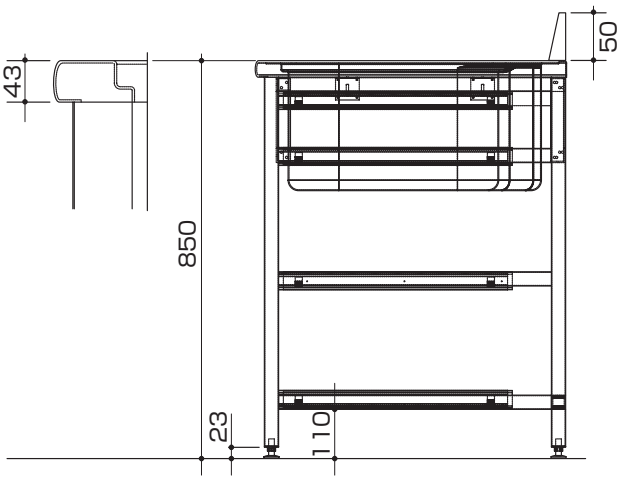


■網棚は、2 段目のワイヤーをフックにかけて、固定します。
■ステンレス棚板は、裏板の切り欠きにフックを入れて固定します。

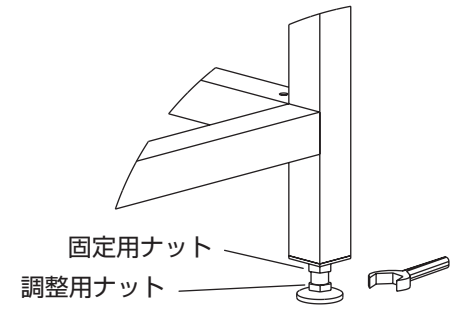


8）高さの調整

■高さを微調整し、不陸をとります。



■付属レンチでアジャスターを調整してください。下側の調整用ナットで高さを決め上側の固定用ナットを締めて固定してください。



■調理面高さ 850mm の場合、アジャスターは 23mm に調整します。（下段の奥行き方向のパイプまで 110mm）アジャスターは 33mm まで調整可能です。

9）小引き出しユニットの取り付け	・・・ 9 ページ	5）小引出しの取り付け方法参照
10）引き出しの取り付け	・・・ 10 ページ	7）引き出しユニット・食洗機ユニットの取り付け方法参照
11）引き出し前板の調整	・・・ 19 ページ	引き出しの調整参照
12）壁面への固定	・・・ 11 ページ	9）壁面への固定参照 （ガス側壁面へのＬ金具固定）

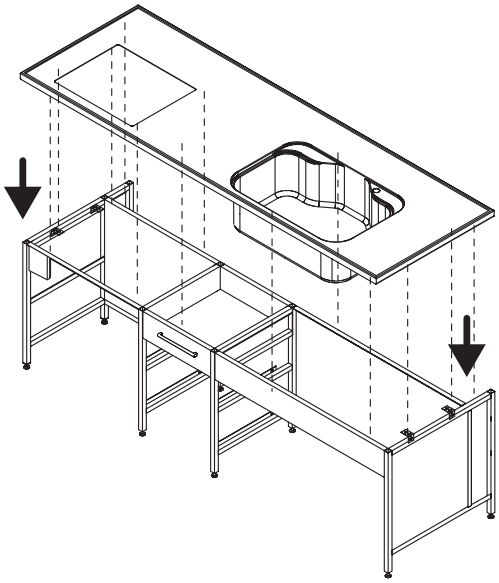
以上を参照してください。

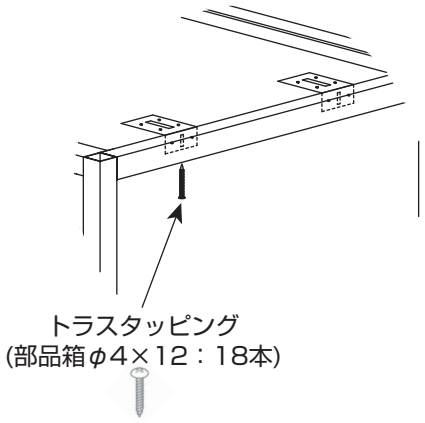
13）ワークトップの取り付け

ワークトップを取り付けます。

■横フレームの下穴とＬ金具の穴を使い、ビス（トラスタッピングφ４× 12 ： 18 本）で下側から固定します。

■取り付ける前にコンロ下スライド棚類を仮置きし、各部の「チリ」を合わせてください。

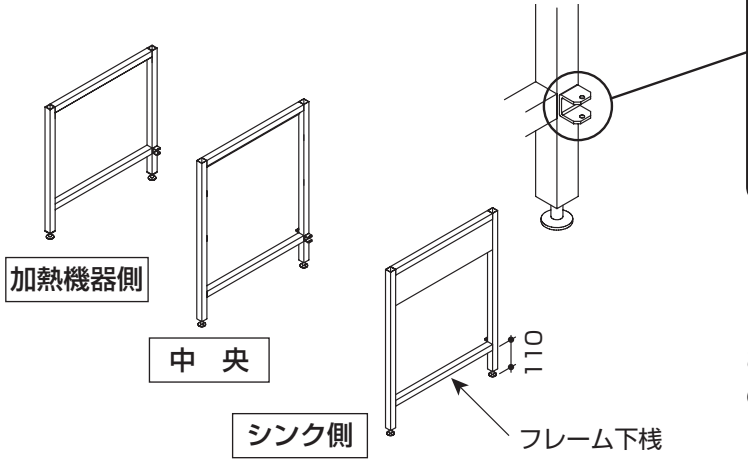




9 コンパクトキッチン（セクショナルタイプ）の取り付け

1）ベースフレームの組み立て

■縦フレーム（加熱機器側／中央／シンク側）を確認します。



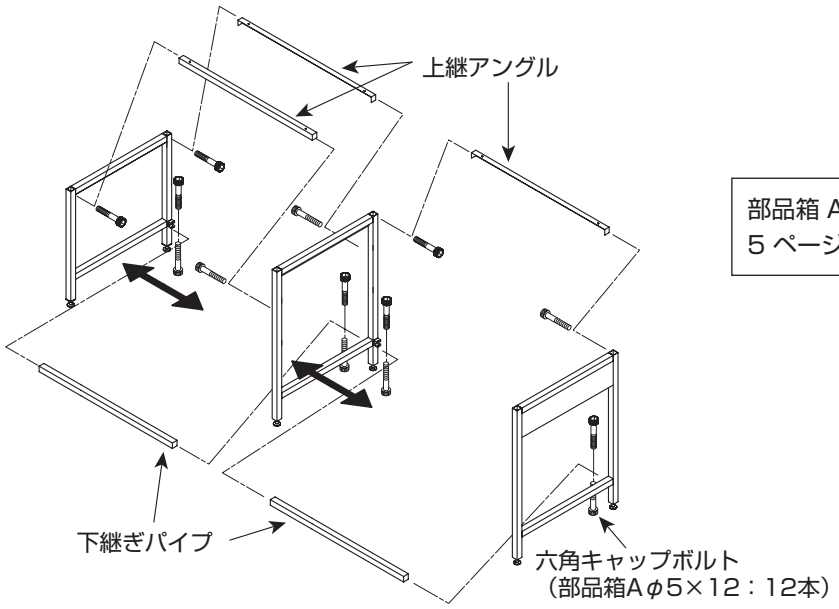
お願い

コ型の金具の数、位置、レールの有無をチェックしてください。

加熱機器側：金具 1 コ
中　　央：金具 2 コ
シ ン ク 側：金具 1 コ

あらかじめ、アジャスター底部とフレーム下桟の間を 110mm に調整しておいてください。（14 ページ参照）

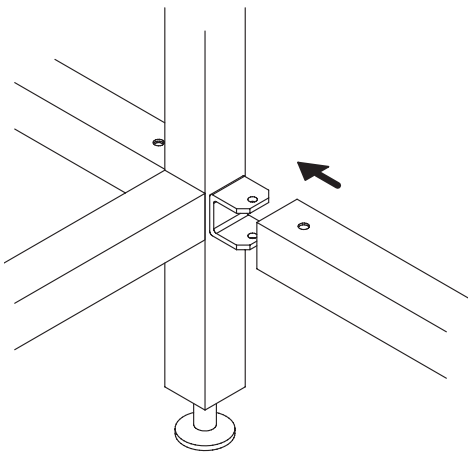
■縦のフレームと上継アングル、下継ぎパイプ 20 カ所を六角キャップボルトで固定します。



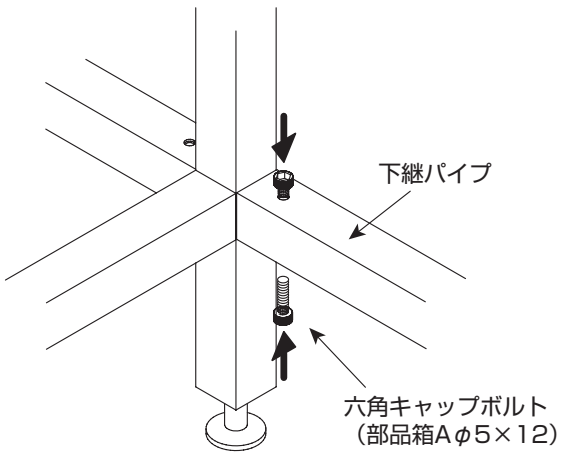
部品箱 A の内訳けは
5 ページを参照ください。

お願い　必ず最初に、継ぎパイプから取り付けてください。後からでは入りません。

①継ぎパイプをコ型の金具に差し込みます。



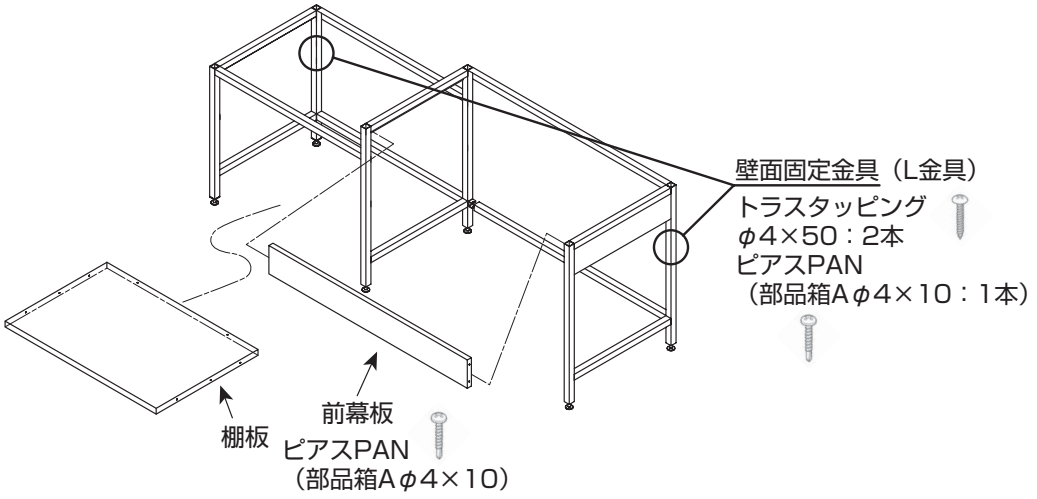
②六角キャップボルトで上下から固定します。



お願い　＋ドライバーで途中まで仮締めし、付属の六角レンチで締めてください。

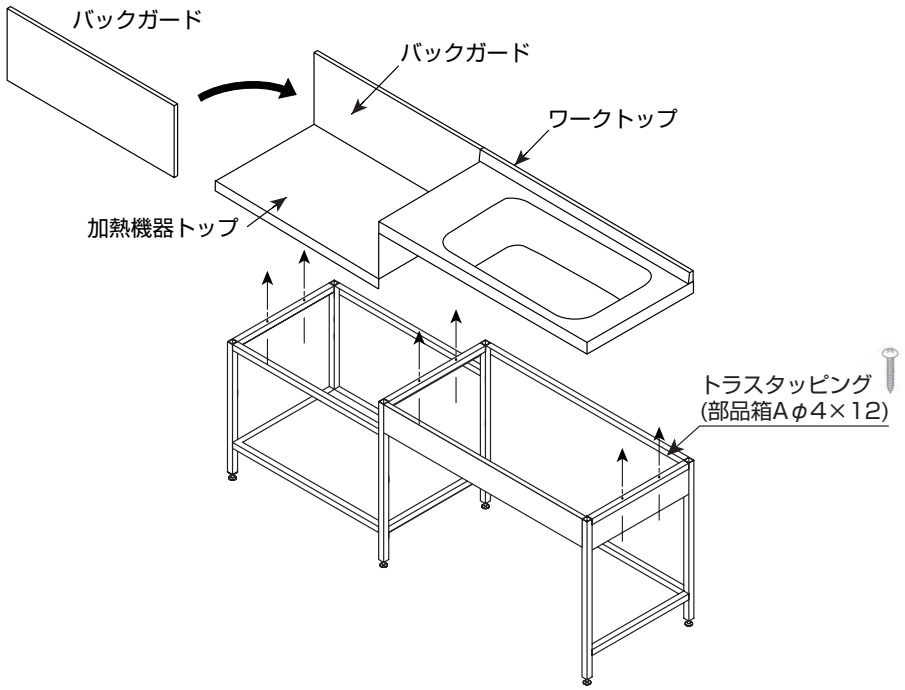
2）壁固定金具、棚の取り付け

■幕板と縦フレームの取り付けは 4 カ所をピアス PAN φ 4 × 10 で固定します。（8 ページ参照）
■棚板の取り付けは 8 カ所をピアス PAN φ 4 × 10 で固定します。
■壁面に固定します。（11 ページ参照）



3）ワークトップの取り付け

■ワークトップを取り付けます。
■ビス（トラスタッピングφ 4 × 12 ： 6 本）で下側から固定します。

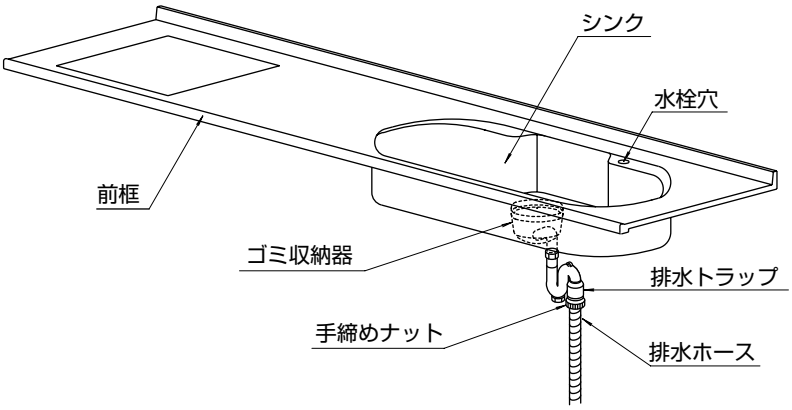


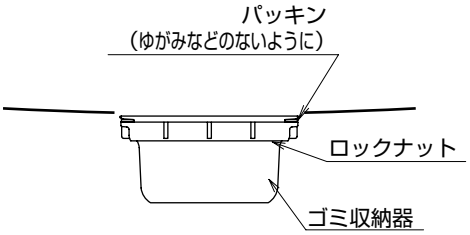
10 排水部材の取り付け

排水トラップの取り付け

■ゴミ収納器の取り付け

シンクの内側にパッキンを入れ、ゴミ収納器を排水口に上から差し込み、シンク下側からロックナットで固く締めてください。（排水トラップが回らないようにしてください。）





⚠ 警 告

手締めナットは手で締めてください。パイプレンチなどは使わないでください。破損および施工不良による水漏れの原因になります。

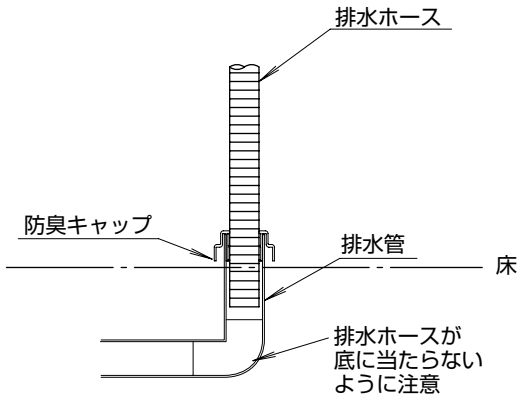
■詳しくは排水セットに同梱の説明書を読み、確実に行ってください。

すべてのシンクに共通

- ゴミカゴ、排水プレートをゴミ収納器に載せてください。
- 最後に再度、各接続部を手でしっかり締め付け、水漏れがないか確認してください。

⚠ 注 意

排水ホースは折り曲げたりしないでください。詰まって排水の流れが悪くなり水漏れの原因となります。 管工事

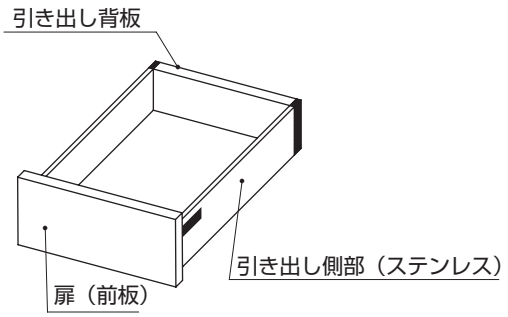


11 組み込み機器の取り付け

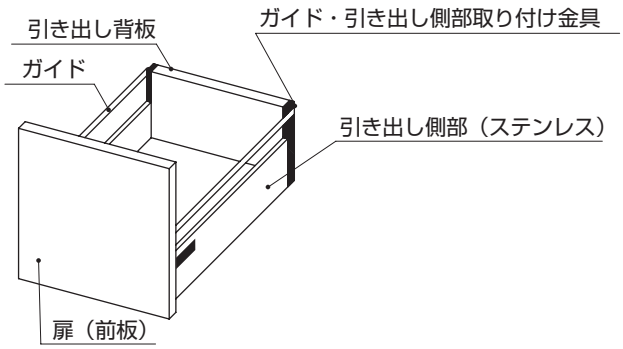
■組み込み機器の取り付けは、機器に同梱の施工説明書を読み確実に行ってください。

12 引き出しの調整

1）フルオープンレールタイプ



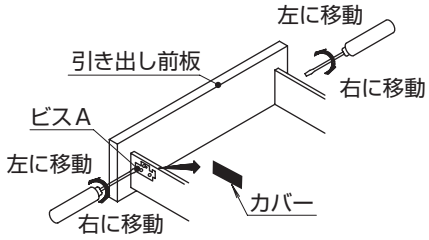
《2 段引き出しワゴン・ 2 段目》



■左右調整

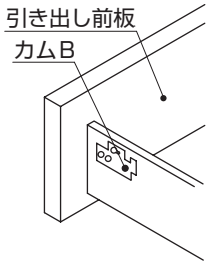
① カバーを外します。

② ビス A を回して、前板の左右位置を調整します。



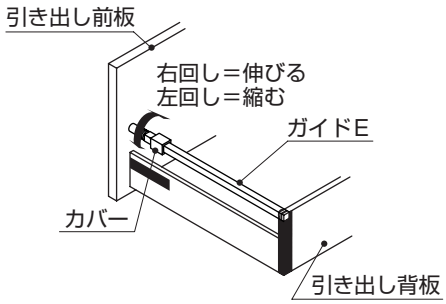
■上下調整

① カム B を回して前板の上下の位置を調整します。

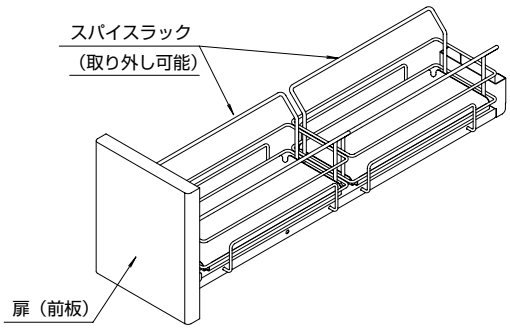


■前後調整（ガイド付きのみ）

① ガイド E の根元を回して傾きを調整します。
根元はカバーを奥にずらすと回せます。



2）モバイルラック

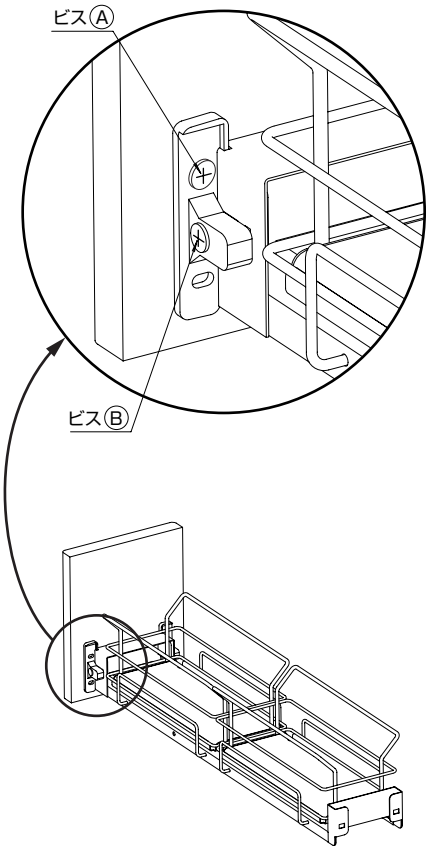


■左右調整（± 1.5mm）

ビス Ⓐ を緩めて、前板の左右位置を調整し、締めなおします。

■上下調整（± 1.5mm）

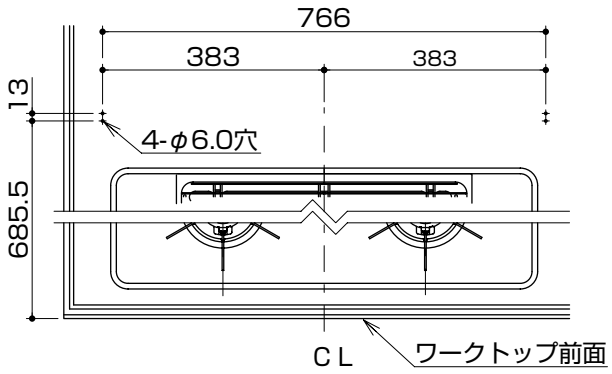
ビス Ⓑ を緩めて、前板の上下位置を調整し、締めなおします。



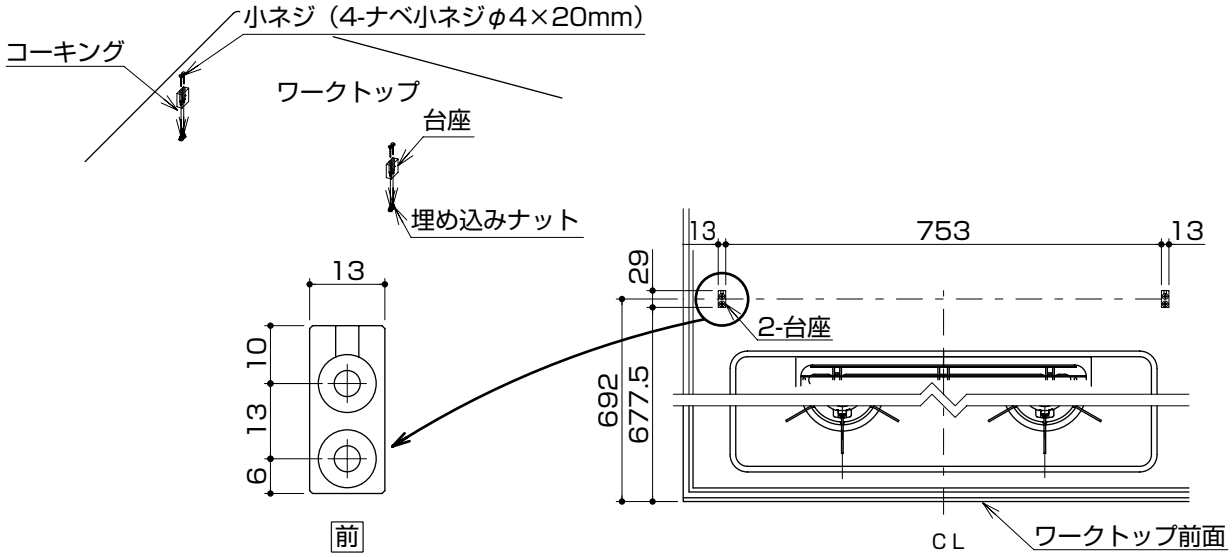
13 オイルガードパネルの取り付け

※オイルガードパネル取り付け用下穴なしの場合　→　1.～ 4.の手順で取り付けてください。
※オイルガードパネル取り付け用下穴ありの場合　→　2.～ 4.の手順で取り付けてください。

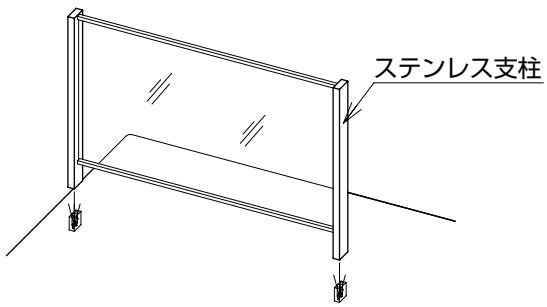
1. ワークトップに台座を取り付ける為の下穴（φ 6.0mm）を開けます。
裏面より埋め込みナット(M4 × 12.5)を取付ける。



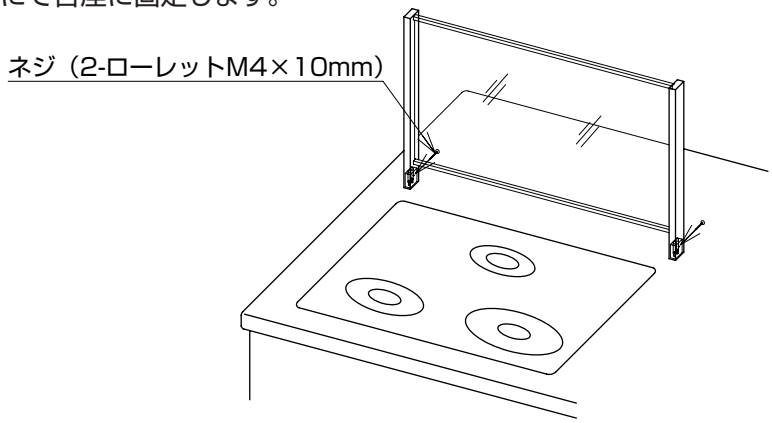
2. 台座をワークトップ上部にビスにて固定します。
注）台座の前をワークトップ前面側に向けてください。
注）貫通穴から水が漏れないよう、周囲をコーキング処理してください。



3. ステンレス支柱を台座に差し込みます。



4. ステンレス支柱の後ろからネジにて台座に固定します。



14 レンジフードの取り付け

■レンジフードの取り付けは、レンジフードに同梱の取り付け説明書を読み、確実に行ってください。
レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を 10cm 以上離すか不燃材料を使用して可燃物を覆う必要があります。詳しくは所轄の消防署へ確認ください。

15 清掃と養生

■扉、キャビネットの配置、ガタつきなど再チェックしてください。

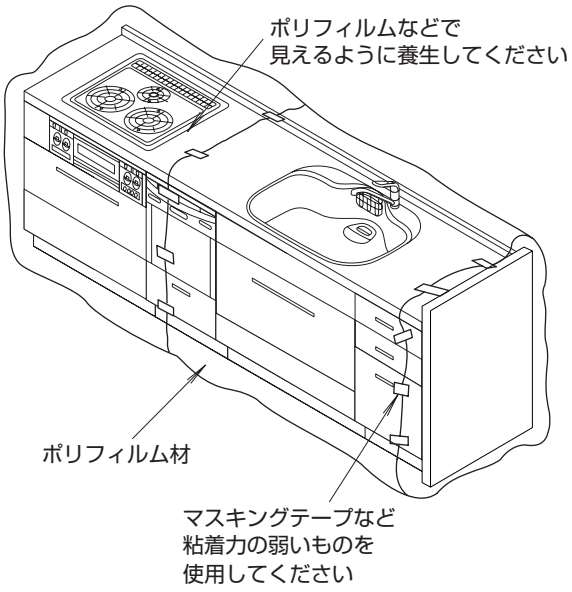
■表面の汚れ、ホコリを拭き取りながら、キズなどの損傷を調べてください。
※扉などキズの付きやすい部位は、ホコリがついた状態で拭き掃除をしないでください。

■養生は市販の保護シートなどを利用してください。

■シンク、ガス機器など破損する恐れがある部分は、ポリフィルムなどで見えるよう養生してください。

■養生に使うテープは粘着力の弱いマスキングテープなどを使用してください。

■床や他の商品に傷をつけないよう注意して行ってください。



16 各部の点検

1）水漏れの確認

■取り付けが終わりましたら、ゴミ収納器、排水トラップ、排水ホースなどの接合部から水漏れがないか確認してください。

2）取り付け部の確認

■各キャビネット、収納庫、カウンターなどの取り付けがしっかりとしているか、もう一度確認してください。
特に、ウォールキャビネットは、ビスの緩み、ガタつきなどないか充分確認してください。
また、内装工事などを行う場合は製品を必ず養生してください。

3）点検表

■取付段階ごとのチェック項目を、次ページに点検表として載せていますので、ご利用ください。

点検表

点検段階	チェック項目	判定
配置した後	レイアウト通りに配置したか	
	水平の確認はできているか	
ウォールキャビネット取り付け後	取り付け位置は墨出し位置と合っているか	
	底板面に段違い、面違いはないか	
	同梱のビスを使用して、確実に取り付けられて落下の恐れはないか	
	棚受けダボは充分に根元まで差し込まれていて棚板の落下の恐れはないか	
	側板上部に段違いはないか	
	前面木口に段違いはないか	
	キャビネット同士は上下左右共にしっかりと連結されているか	
ベースキャビネット取り付け後	シリコンやパテなどが商品周辺に付着していないか	
	ワークトップとキャビネットは、同梱のビスを使用して確実に取り付けられているか	
ワークトップ取り付け後	水栓はグラつきなく取り付けられているか	
	排水部材は緩みなく取り付けられているか	
	ゴミ収納器に注水し、トラップが機能しているか	
	シンクを満水にして水漏れがないか	
	バックガードと壁とのシーリングは完全か	
	ワークトップと化粧パネルとのシーリングは完全か	
設備機器取り付け後	機器取り付け後の確認を説明書どおりに行ったか	
全体の外観	扉や引き出しの調整は行ったか	
	扉や引き出しの開閉はガタつきがないか	
清掃した後	取付箇所の清掃は充分か 清掃に洗剤を使用した場合は必ず水拭きした後乾拭きしてください。 水道水のみを使用した場合も必ず乾拭きしてください。 （洗剤・水滴が残っていると錆が発生する可能性があります。）	
養生後	後工事（タイル工事など）のための養生は充分か	
	取扱説明書（保証書付）はあるか	

※チェックは上記段階で必ず実施してください。OK の場合は判定に○をつけてください。
※取り付け・修理・補修部品などのご相談は、販売会社・管理会社もしくはお求めの販売店へお問い合わせください。

17 残材・廃棄物の処理

■現場清掃
作業終了後の現場は、きれいに清掃してください。釘やネジなどは、床を傷つける恐れがあります。

■廃棄物の拠出・処理
残材・廃材処理の分担、方法は事前に打ち合わせた方法で行ってください。

株式会社参創ハウテック
〒 112-0012　東京都文京区大塚 3-4-11 フォンティーヌ V1F
phone:03-5940-0525　　平日 9:00 ～ 17:30
http://www.ekrea.net　　休業日 土・日曜日、祝日、年末年始
e-mail : parts@ekrea.net